

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	次世代起業家育成事業【22新規】	会計	一般会計	事業No.	455	施策順No.	12-021
		事業種別	政策・重点	予算科目	7-1-2-11-5		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	商業・市街地活性化課		
施策	12 人材育成と企業、人材誘導			事業期間	開始	22	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	高校生等						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		学生、生徒数		12922			12500	
	意図	企業見学や起業体験等により、商業の仕組みを理解してもらうとともに、将来の起業・就業に結び付けてもらう。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	講座等に参加した学生、生徒等				90	179	90	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	小学生を対象とした地元産業見学ツアーは流通をテーマに実施し、参加者からも好評であった。長姫高校商業科の講座については、マーケティング、金融など4回の講座を実施。また、生徒の課題研究への支援も行い、水引を使った商品開発やその販売実習にも協力した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	小学生から高校生までを対象に起業体験や講座、企業見学等を行い、商業の仕組み等を理解してもらう。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 高校生商業講座 飯田長姫高等学校商業科の生徒を対象とした商業講座の実施及び課題研究への協力 (1)飯田長姫高等学校商業講座(NPO法人アイデアに委託) マーケティング講座(2回)、国際ビジネス講座(1回)、金融講座(2クラス各1回) (2)その他 課題研究(水引商品開発等)、市公高校生講座への協力 2 地元産業見学ツアー 小学5、6年生親子を対象とした地元企業・商業施設の見学・体験ツアー 飯田市地方卸売市場、野々村水引店、かぶちゃん農園、キラヤを見学	1 (1)受講者数 2 参加者数	1 (1) 135人 2 44人
23年度実施計画	1 高校生商業講座の実施 ※飯田長姫高等学校商業科の生徒を対象としたビジネス講座及び課題研究への協力 施設見学、講座(マーケティング、商品開発、融資等)等 2 地元産業見学ツアーの実施 ※小学校高学年親子を対象とした地元産業・商業施設の見学・体験ツアー	講座等の参加者数	90人

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)			特定財源内訳、補足事項
		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他				
	一般財源	262	142	450	
	計(A)	262	142	450	
	正規職員所要時間		600		
	臨時職員等所要時間				
	人件費計(B)		2,146		
	トータルコスト A+B		2,288		

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	起業・就職してもらう	施策の成果指標又はムツス指標	商工団体等で支援して起業した人数
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・学生・生徒に商業の仕組み等を理解してもらうことや、地元の企業・産物を知ってもらうことは、次世代の地元産業の担い手や起業家、地元産業・産品に愛着を持った市民の育成に繋がる。		
	後期に向けた課題	・特になし。		創業支援資金のあつせん数
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・地元産業見学ツアーについては、21年度から体験の要素も取り入れたことから夏休みの子供達に好評であり、応募者が定員をオーバーする状況である。 ・高校生講座については、22年度に、商業・工業・農業の3課がそれぞれ地元実業高校と関わりを持った事業を行い、年度末に課題研究の合同発表会を行う試みを、産業経済部と公民館の共同事業として行った。		
	後期に向けた課題	・地元実業高校との連携は次世代育成のために必要な取り組みであり、今後も発展継続させることが必要である。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・最低限の経費で事業を行っている。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・次世代の産業の担い手育成は、地域経済活性化のために市として取り組む必要があり、市の関与は適切である。 ・地元産業見学ツアーについては、参加者に参加費負担をお願いしている。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①地元産業見学ツアーについては、飯田商工会議所と協同実施している。また、高校生講座については、NPO法人いっだ応援ネットイデアに委託して実施している。イデアは経営・起業支援による地域活性化を目的としたNPOであり、講師や企業見学の手配、実習指導などを行ってきていただいている。 ②市も企画段階から積極的に関わり、意思疎通を図る中で協働意識をもって事業を行っている。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・地元産業見学ツアーは夏休みのイベントとして好評であり、一定の成果はあったと考えている。 ・高校生講座については、かつて行っていたチャレンジショップのような実習は諸事情から再開できていないが、学校の授業や課題研究と組み合わせ、無理の無い形の中での有益な講座や支援ができていると考えている。		
	後期に向けた課題	・地元実業高校との連携は次世代育成のために必要な取り組みであり、今後も学校と良好な協力関係を築きながら、事業を発展継続させることが必要である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------